

令和3年度 外国語科・外国語活動実践・研究計画

部 員	○藤田 峻, 佐々木 絵理子, 菅原 恵, 佐藤 秀恒, 石田 智之, 小林 葉子
-----	---

研究テーマ
**仲間や言語に積極的に関わり、外国語を用いた
 コミュニケーション能力を高めようとする子どもを育む学び**

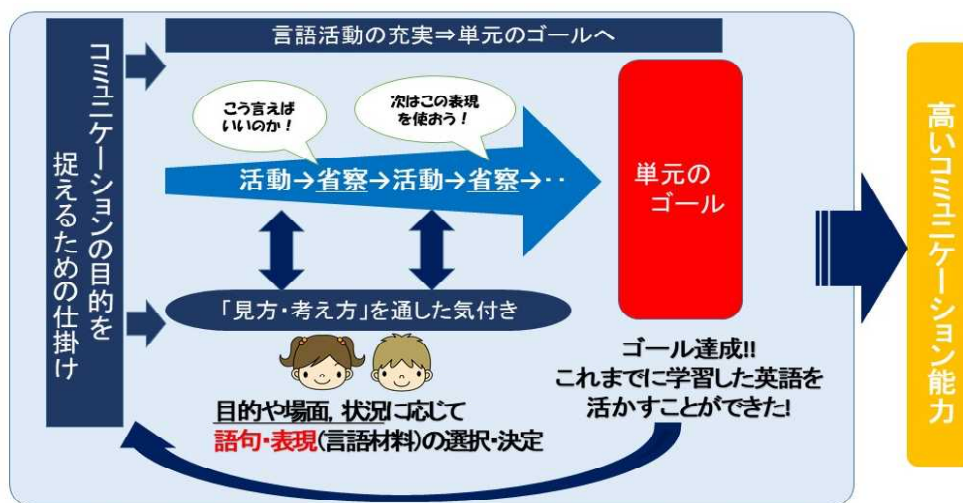
1 研究テーマについて

子どもたちが外国語を用いたコミュニケーション能力が高まったと感じたり、成就感を味わったりすることができるのはどんなときなのだろうか。それは「相手の言っていることが分かった」「自分が伝えたいことを伝えることができた」という喜びを感じ、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることが楽しいと思えたときではないだろうか。目的や場面、状況に応じて、学習した語句や表現をいつでも使える子どもの姿を期待し、最終年次も研究テーマを継続しながら、実践・研究を積み重ねていく。

外国語科・外国語活動部では、研究主題の「自律した学習者」を、必要な言語材料（語句や表現）や言語の背景にある文化について自ら気づき、考え、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っていく子どもと捉えた。

また、研究副題の「学びをつなぐ」とは、これまでの学習で積み重ねてきた語句や表現、異文化理解など、「見方・考え方」を用いた実際のコミュニケーションにおける気づきを、自らのコミュニケーションの手段や目的として汎用的に生かしていくことと捉えている。

外国語科・外国語活動における自律した学習者を育てる学習プロセスを、以下のように考える。



図：外国語科・外国語活動 自律した学習者を育てる学習のプロセス

昨年度の研究では、Web 会議システムを活用した海外の小学生との交流や、自分は知っているが、相手は知らない情報をやり取りするような（インフォメーション・ギャップのある）活動を単元の中に意図的に設定したことで、英語を使うことの必要感が高まるとともに、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る姿が見られた。

また、一人の気づきや省察したこと（個人が言いたかったこと・上手く伝わらなかったこと等）をクラス全体で共有することで、伝える側と受け取る側の認識が一致するようになり、新出の知識・技能の習得や、語句や表現を捉え直す機会へとつながった。

一方で、言語活動のデザインを即興性の強いものにしたとき、自分の話したい言葉は多岐にわたる。児童が内容や言語材料を選択・決定し、自分の考えや気持ちを伝えていくためには、それらを調べるための媒体が必要となることが課題として見えてきた。

そこで最終年次の研究では、小学校段階における言語材料を調べるための媒体（辞書・ICT 機器活用等）についての模索と、省察を通して言語材料を再構築したことよさが、自分自身で更に実感できるための手立てについて考えていきたい。

外国語科・外国語活動で目指す「学びをつなぎ、資質・能力を高めていく子どもの姿」とは次のようなものである。

よりよいコミュニケーションのために必要とする「見方・考え方」を通した気づきを、他者との関わりによって省察することを通して、言語活動を楽しみながら、コミュニケーション能力を高めようとする子どもの姿

2 研究の重点 <○は具体的な取組の例>

(1) コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、自分のことを伝えるための語句や表現を選択することのできる単元構成の工夫

○Web会議システムを活用した海外との交流学习や、ALTに自分のことを伝える活動等を単元の中に位置付ける。

- ・日本の絵本について、海外の小学生に簡単な英語で紹介する活動を設定する。
- ・自分たちの県や日本のよさについて、ALTや海外へPRする活動を設定する。

○使いたい語句や表現を自分で選択・決定できる場を設定する。

- ・写真や絵の内容を、英語で説明する活動を設ける。(Picture Description活動)
- ・ICT機器の辞書機能で、使いたい英語を調べることができる場を保障する。

(2) 言語材料を再構築したことよさを、自分自身で実感できる省察の工夫

○自分の英語で話す姿をICT機器で録画・視聴することを繰り返すことで、言語面での気づきを積み重ねることができる場を設定する。

○自分たちの英語を用いての紹介について、海外の小学生から感想をもらったり、仲間同士でフィードバックし合ったりすることができる場を意図的に設定する。

3 研究・研修計画

時期	主な研究・研修行事	研究・研修内容
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語科・外国語活動部会 ・附属中学校公開研究協議会 (6/4) ・附属小学校公開研究協議会 (6/18) 提案授業 (藤田：4C) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践・研究計画の立案 ・公開研に向けての指導案検討 ・授業を通しての重点事項の検証
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との共同研究 ・教材研究、授業実践 ・研究リーフレット執筆 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通しての重点事項の検証 ・授業づくり、授業力向上 ・実践・研究のまとめ
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語科・外国語活動部会 ・初等英語科教育学 ・教材や教具の作成・整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の実践・研究計画の立案 ・大学生の模擬授業 指導・助言 ・授業づくり、授業力向上

通年：年間指導計画及び資質・能力表の加除・修正